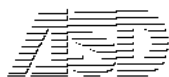


BST-G89TM データ変換説明書

for Windows95/98/98SE/2000/Me/XP

(BST-G89TV /BST-G89TS データの
BST-G89TM へのデータ変換について)



はじめに

本書では『BST-G89TV』, 『BST-G89TS』での入力データを『BST-G89TM』で使用するための変換方法について説明しています。

重要な部分を含んでいますので、必ず目を通しておいください。

『BST-G89TV』, 『BST-G89TS』用データと、『BST-G89TM』用データの違いは、入力データを記録しているファイル名に拡張子がついているかどうかという点のみです。

つまり、『BST-G89TV』, 『BST-G89TS』用の入力データを記録しているファイルは「BG-CNTF」であり、『BST-G89TM』の入力データファイル名は「BG-CNTF.dat」と、同様に、『BST-G89TM』用では拡張子「.dat」が付けられているということです。

それ以外の点では、『BST-G89TV』, 『BST-G89TS』用データと、『BST-G89TM』用データに違いはありません。

従って、コンピュータの操作に自信のある方は、『BST-G89TV』および『BST-G89TS』それぞれにある12の実行エリアの入力データファイル「BG-CNTF」を『BST-G89TM』に移し、そこで「BG-CNTF.dat」に名称を変更すれば、使用できることになります。

しかし、その後の圧縮保管を含めて考えると、次頁以降に述べる方法で移行した方が作業手順も少なく、間違いがないので、特別な事情がない限り、次頁以降の方法でデータ変換してください。

それでは下記手順にて『BST-G89TV』, 『BST-G89TS』用の入力データを『BST-G89TM』用のデータに変換してください。

1. 『BST-G89TV』、『BST-G89TS』のデータを『BST-G89TM』用に変換する

『BST-G89TV』または『BST-G89TS』での入力データを『BST-G89TM』用に変換するときは、以下の方法で行ってください。

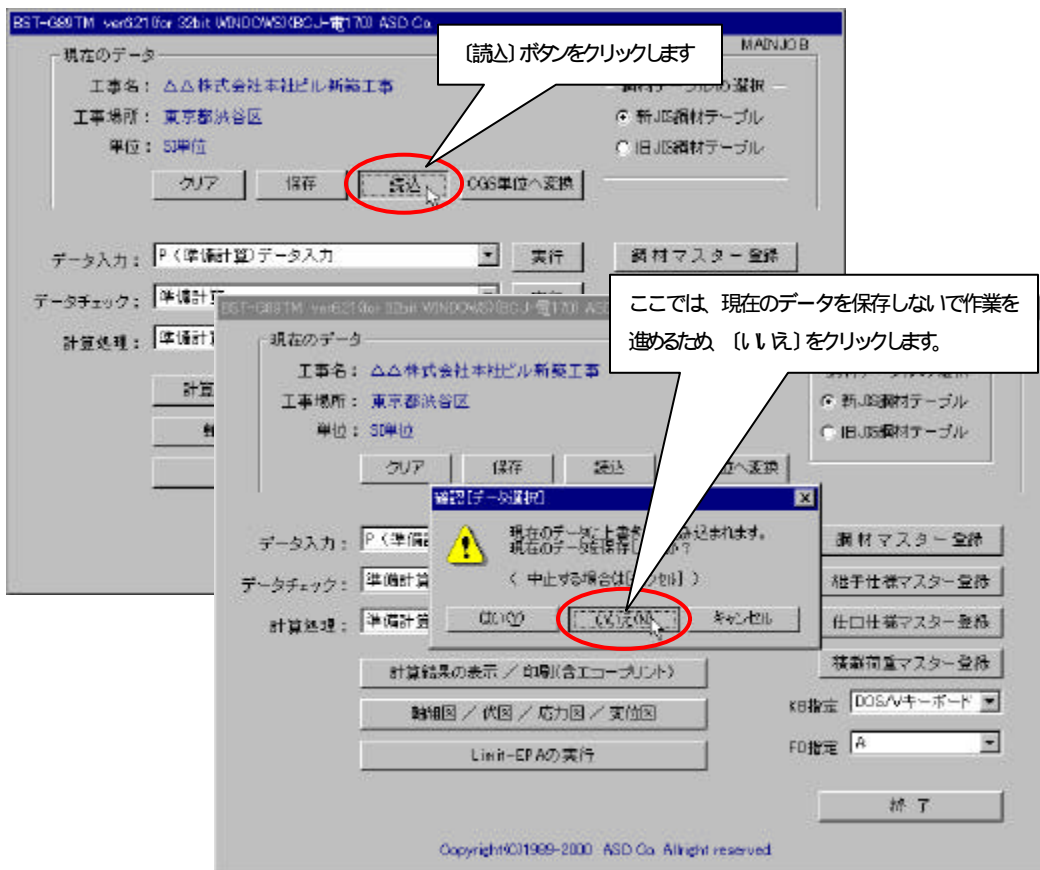
1.1. 計算領域にあるデータ

ここでは、『BST-G89TS』の「計算領域01」のデータを読み込むことを例題として説明します。

同じく『BST-G89TS』の「計算領域02」～「計算領域0C」までのデータ、および『BST-G89TV』の「計算領域01」～「計算領域0C」までのデータの読み込みについては、基本的には同じ操作の繰り返しなので、各自応用して行ってください。

1. まず『BST-G89TM』を立ち上げます。
2. メインメニュー画面が表示されましたら<読み込>ボタンをクリックしてください。
3. すると、「現在のデータに上書きして読み込まれます。現在のデータを保存しますか?」というダイアログが表示されますので、保存しておく必要があればはいを、その必要がなければいいえをクリックしてください。

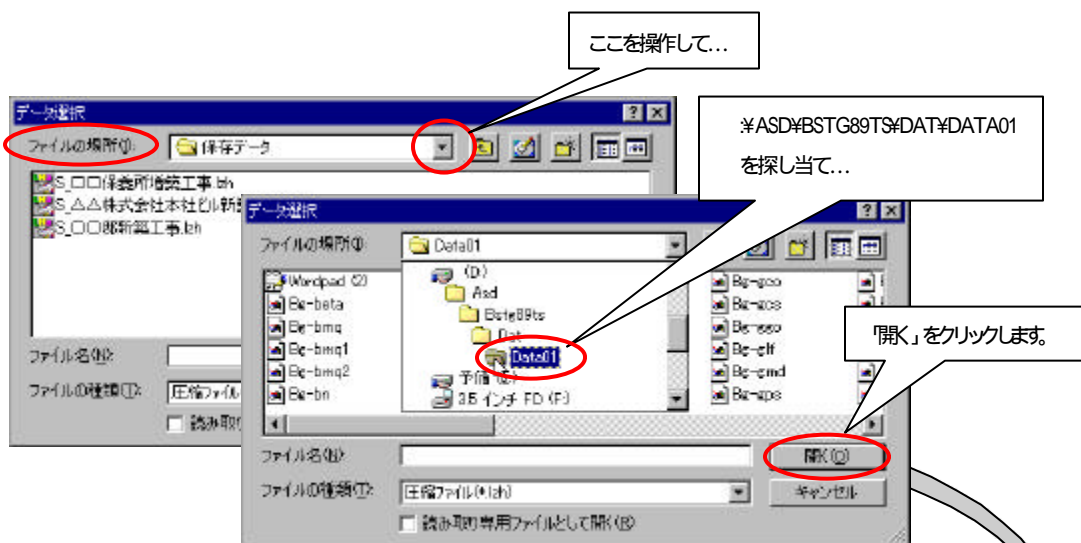
ここでは、現在のデータを保存しないで作業を進めるため、<いいえ>をクリックすることにします。



4. 画面には読み込むデータを指定するダイアログが表示されますので、以下に従って読み込むデータを指定してください。

ここでは、最初にも記述しましたように、『BST-G89TS』の「計算領域 01」のデータを読み込むことを例題として説明します。同じ『BST-G89TS』の「計算領域 02」～「計算領域 0C」までのデータ、および『BST-G89TV』の「計算領域 01」～「計算領域 0C」までのデータの読み込みについても、基本的には同じ操作の繰り返しなので、各自応用して行ってください。

5. 3項での操作をすると、下図のような、読み込むデータを指定するダイアログが表示されますので、ダイアログの「ファイルの場所」で、『BST-G89TS』内の計算領域の1番目「Data01」を選択してください。

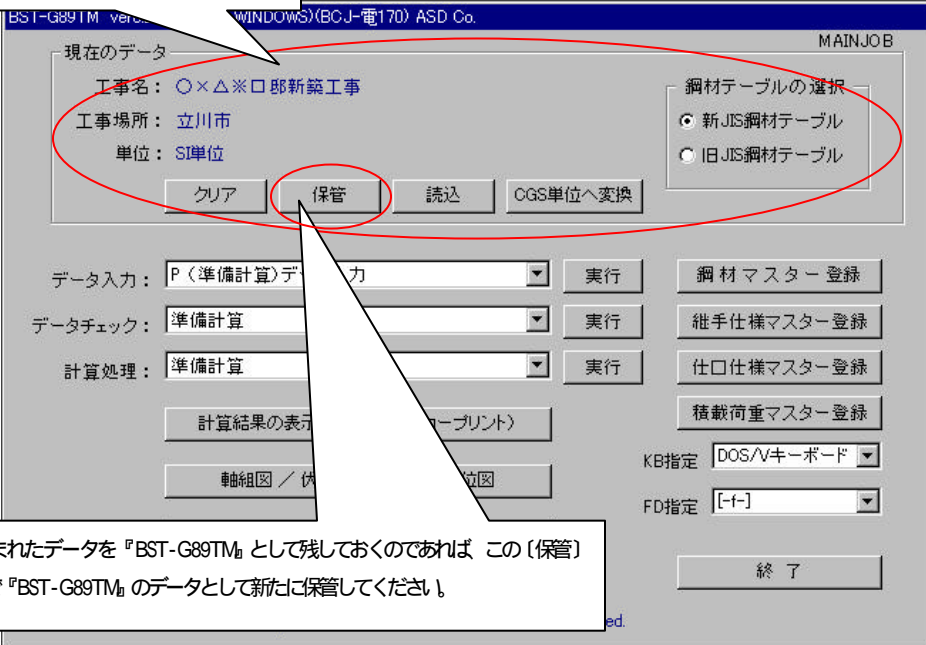


6. 開いたホルダ内から、「BG-CNTF」というファイルを指定し、「開く」をクリックしてください。



7. するとそのデータ内容が『BST-G89TM』で読み込まれ、下図のように「現在のデータ」欄に表示されます。
- これで、『BST-G89TS』の「計算領域 1」の入力データが『BST-G89TM』に読み込まれたこととなります。

「BG-CNTF」というファイルを開くと、そのデータが読み込まれ、工事名等が表示されます。



現在のデータ

MAINJOB

工事名：○×△※□ 邸新築工事

工事場所：立川市

単位：SI単位

鋼材テーブルの選択

新JIS鋼材テーブル

旧JIS鋼材テーブル

クリア 保管 読込 CGS単位へ変換

データ入力：P(準備計算)データ入力 実行

データチェック：準備計算 実行

計算処理：準備計算 実行

鋼材マスター登録

継手仕様マスター登録

仕口仕様マスター登録

積載荷重マスター登録

計算結果の表示 (スクリーンプリント)

軸組図 / 伏見図 (軸組図)

KB指定：DOS/Vキーボード

FD指定：[-f-]

終了

読み込まれたデータを『BST-G89TM』として残しておくのであれば、この〔保管〕ボタンで『BST-G89TM』のデータとして新たに保管してください。

8. この読み込まれたデータは、内容に間違いがなければそのまま直ちに実行することができますが、安全のため、また次のデータを読み込むためにも一度保管しておくことをお勧めします。
- 現在のデータを保管するときは、『BST-G89TM 操作説明書』の「2.1 現在のデータに関する操作」で「【5】.....現実行エリアのデータを保管.....」(P.3)を参照してください。